

一般質問発言通告表

向日市議会 令和8年第3回定例会

令和8年9月3日

質問順	会 派 名 氏	質 問 事 項 (要 旨)
1	日本共産党議員団 丹 野 直 次	1 アリーナ建設にかかる周辺住民不安に向き合う政治姿勢について 2 住民生活を支え誰でも利用しやすい「ぐるっとむこうバス」について 3 北陸新幹線延伸と桂川駅案に反対表明することについて
2	自 民 ク ラ ブ 米 澤 知 紀	1 災害派遣における本市職員の派遣体制について 2 人権尊重のまちづくりについて 3 シナチクノメイガ対策について 4 かぐやの灯のライトアップ活用について
3	日 本 維 新 の 会 長谷川 愛	1 府道67号線周辺における今後の交通環境の変化と安全対策について 2 通常学級にいる特別な教育的支援を必要としている児童の個別支援員について
4	公 明 党 議 員 団 富 安 輝 雄	1 災害時における人的受援体制の強化について
5	MUKOクラブ 近 藤 宏 和	1 デジタル・ウェルビーイングについて 2 子育て家庭に寄り添う環境づくりについて
6	明 日 の 向 日 杉 谷 伸 夫	1 京都アリーナを巡る市長の政治的責任と市民に向き合う姿勢について 2 市民と共に市政をつくる視点から、庁舎管理規則の改訂を問う
7	松 本 みゆき	1 人口動態の変化を踏まえた中学校区と通学環境のあり方について 2 友好都市交流を未来につなぐ取り組みについて 3 市民の安心を守る開発事業の手続きのあり方について
8	日本共産党議員団 北 林 智 子	1 来年度の小学校給食の無償化の継続及び、中学校給食の無償化の実施について 2 小中学校のトイレにトイレットペーパーのように生理用品を常備設置すること 3 加齢性難聴高齢者に対する補聴器購入助成をすることについて

9	日本維新の会 青山 まゆみ	1 防災備蓄品の整備状況と今後の対応について 2 認知症高齢者と家族介護者を支える支援体制について
10	公明党議員団 福田 正 人	1 健康寿命の延伸について 2 市民の生活環境について
11	MUKOクラブ 和 島 一 行	1 本市の衣類のリサイクル率アップについて 2 本市の公園について
12	明日の向日 林 リ エ	1 本市の財産である職員（人物）の働き方について 2 向日市の農の未来について 3 防災の進歩と、公式LINE防災機能の早期導入について
13	日本共産党議員団 米 重 健 男	1 防災について 2 市民協働センター「かけはし」と現寺戸公民館の今後について 3 市民体育館の空調利用について 4 第3保育所跡地の活用について
14	日本維新の会 村 田 光 隆	1 職員の採用から定着へ持続可能な人材確保について 2 デジタル教科書の導入について

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野 直次	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. アリーナ建設にかかる周辺住民不安に向き合う政治姿勢について	1. 工事から半年が経過したがアリーナ周辺住民の要望について伺う。 ①行き帰りのアクセス3ルートで人の流れを時間・ルート等で分散とは。 ②イベント開始前、終了直後の混雑時、緊急車両は出動できるのか。 ③平日と祝日イベントの終了する時間は何時か。アリーナ周辺が静かになる時間は。 ④物集女街道C工区の工事はアリーナ開業までに間に合うのか。 ⑤福祉会館前交差点の立体化はどんな計画か。 ⑥アリーナ本体と競輪場の形状と位置関係がわかる立体模型をなぜ公開しないのか。 ⑦アリーナ敷地内緑地の遊歩道がいつから敷地外の市道に変更したのか。 ⑧敷地南側の市道 2107 号の北山住宅側になぜ熱風を吹き出す室外機設置するのか。 ⑨真正面の入りロ一等地に広い駐車場付きファミリーマートか。 ⑩ネーミングライツは「ニデックアリーナ」か。市はどう考えるのか。 2. 市長はアリーナ周辺の近隣住民と会ってください。市民からの相談に対処していただきたい。		
2. 住民生活を支え誰でも利用しやすい「ぐるっとむこうバス」について	1-① 阪急バスが 63 系統減便報道された。住民不安と不満の声に、市はどのように対応されるのか伺う。以前市は阪急バスに「助成金」を出していた。来年度予算でバス事業者に運行支援を検討してはどうか。 1-② 同記事には、「阪急バス会社は地域の公共交通を持続的に維持するため、自治体や関係機関と検討を進めている。」とありますが、市として阪急バス会社と協議を行ってきたのか。 2. ぐるっとむこうバス利用者の高齢者（70 才以上）のバス運賃減額について「パブリックコメント」。市民からの意見の提出状況と結果は。 3. 北ルート、南ルートに新たに現在の反時計回りを運行して市民生活の利便性向上にむけた検討を伺う。今後においてと市民要望の土・日運行を検討してはどうか。		

	4 京都市バスが向日市内を運行するに至った経過について、京都市との協議内容や国交省運輸局との調整も含めた経過を伺う。また京都市バスの新路線を JR 向日町駅や市内に運行する広域的視野を持った計画が必要と考えるが、市の所見を伺う。
3. 北陸新幹線延伸と桂川案に反対表明することについて	7 月 15 日に自民と維新の会の与党整備委員会は北陸新幹線延伸計画桂川駅で合意したが、前議会で質問し答弁でもあったように、「京都市周辺域に係る地下水検討委員会」資料で、「向日市域の地下水の影響が出る。」と報告にある。周辺自治体の向日市としては、「着工 5 条件」も満たしていないことから反対を表明すべき。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米澤知紀	所属会派名	自民クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 災害派遣における本市職員の派遣体制について	災害時における本市職員の派遣状況と、今後の派遣体制の在り方について ①令和8年熊本地震において、本市にどのような職員の派遣要請があったのか。また、現地状況・活動内容の報告、学びなどについて伺う。 ②災害派遣要請があった場合の本市の対応体制、派遣判断基準、職員の安全確保の考え方について伺う。		
2. 人権尊重のまちづくりについて	京都府が「人権尊重の共生社会づくり条例」を施行したことを踏まえ、本市の人権施策の方向性について ①京都府条例を本市としてどのように評価しているか伺う。 ②人権尊重のまちづくりに関する条例の制定について、本市の見解を伺う。		
3. シナチクノメイガ対策について	乙訓地域で拡大するシナチクノメイガ被害への本市の対策について ①補助金の利用状況、周知方法、相談体制など、制度の活用状況について伺う。 ②農薬散布以外の対策（幼虫除去、竹林管理強化、巡回支援など）の可能性について伺う。		
4. かぐやの灯のライトアップ活用について	市民参加で愛称が決定した「かぐやの灯」（上植野浄水場配水塔）を、クリスマス、ハロウィン、七夕、かぐやの夕べなど、季節行事や市イベントと連動したライトアップを実施する考えがあるか伺う。		

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	長谷川 愛	所属会派名	日本維新の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 府道 67 号線周辺における今後の交通環境の変化と安全対策について	1. 府道 67 号線の福祉会館前交差点内に右折車取り残されることについて、交通状況や安全上の課題について、本市としてどのように把握されているのか見解を伺う。 2. 中垣内交差点の信号機を数秒でも時差にするとか矢印信号機設置をしてはどうか、見解を伺う。 3. 府道 67 号線の交通状況や安全上の課題について見解を伺う。		
2. 通常学級にいる特別な教育的支援を必要としている児童の個別支援員について	1. 通常学級で特別な教育的支援を必要とする児童生徒を支援する支援員の役割と、配置状況についてお伺いします。 2. 通常学級で特別な教育的支援を必要とする児童生徒の人数及びその推移について、本市としてどのように把握しているのかお伺いします。 3. 実際に子どもたちの支援に携わる支援員から、働き方や支援を行う上での声などを聞く機会や仕組みを設けているのか、また、それらの声を教育委員会としてどのように把握し、支援体制に反映しているのかお伺いします。		

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	富安輝雄	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 災害時における人的受援体制の強化について	1. 向日市地域防災計画「広域応援体制の整備計画」に基づく受援体制の運用状況 ① 人的受援体制の位置付け、運用状況、および対象業務の範囲について。 ② 本計画に基づく受援体制が、防災担当部局だけでなく、福祉、税務、建設、環境、子育てなど、関係各部局が参画する全庁的な運用体制となっているか。また、一般職員への周知及び認識状況について。 ③ 近年の大規模地震や大雨災害の教訓を踏まえた本市の受援体制の全庁的な点検・見直しの考えについて。 2. 災害業務ごとの「必要人員」および「不足人員」の事前算定 ① 避難所運営や罹災証明発行等、大規模災害時に本市で業務量が急増する業務の抽出・整理状況について。 ② 発災後の経過時間（24 時間・72 時間・1 週間等）に応じ、必要となる職員数と自前（市職員）で確保できる職員数を把握・試算する仕組みの有無について。 ③ 職員自身の被災等による参集率低下を考慮した上で、具体的に「どの業務に何人足りないか」を明示して早期に応援要請できる体制になっているかについて。		

	3. 応援要請の判断基準および要請ルート of 明確化 ① 人的応援の要請を判断する責任者、および被害の全容が判明する前の段階でも早期に相談・要請を行うための手順・基準について。 ② 京都府への要請、乙訓地域をはじめとする近隣自治体や相互応援協定締結都市への要請、国の派遣制度など、複数の要請ルートの整理状況と夜間・休日における連絡手順について。 4. 応援職員の受入れ環境の整備 ① 到着した応援職員の受付、各部局への配置決定、業務指示を一元的に行う全庁的な受入統括体制（受援調整班等）および運用ルールの整備状況について。 ② 応援職員が直ちに住民支援業務に就けるよう、執務スペース、移動用車両、および宿泊場所の確保手順や手配状況について。 5. 受援計画に基づく全庁的な訓練の実施と定期的な見直し ① 防災担当部局だけでなく関係各部局が参加する「人的支援の受入れを想定した全庁的な受援訓練」の実施実績および今後の計画について。 ② 「庁舎一部使用不可」や「予定宿泊施設の被災」など、具体的なシナリオを設定した実践的訓練の実施について。 ③ 訓練や他自治体への派遣実績で明確になった課題を分析し、受援体制や運用マニュアルに反映・見直しを行う仕組みについて。
--	---

一般質問通告書（分割）

質問者氏名	近藤 宏和	所属会派名	MUKO クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. デジタル・ウェルビーイングについて	スマートフォンのメリット・デメリット心身の健康や生活習慣への影響について周知し、適切な利用を促す教育の必要性を問う。 学校現場での現状認識について ① スマートフォンの長時間使用や依存傾向について、本市の学校現場ではどのような課題認識をもっているのか伺う。 学校で把握している実態について ② スマートフォンの使用に起因すると考えられる生活習慣の乱れや学習面への影響について教員や養護教諭などから相談や報告があるのか伺う。 教育・啓発の取組みについて ③ スマートフォン依存や健康への影響について、授業などで、どのような内容を扱い、児童生徒や保護者へどのような啓発を行っているのか伺う。 今後の取組みについて ④ これからの時代、デジタルの便利さを享受しながらも、心身の健康や生活とのバランスを保つデジタル・ウェルビーイングの視点が重要であると考ええる。AI 時代だからこそ、スマートフォンを使いこなす力は必要です。一方で、子どもたちの心身の健康や学ぶ力を守ることも教育の大切な役割だと考えます。教育長は、子どもたちがデジタルと健全に付き合いながら成長していくために、学校教育はどのような役割を果たす必要があるとお考えでしょうかお聞かせください。		
2. 子育て家庭に寄り添う環境づくりについて	子どもが生まれる喜びの一方で、育児は不安や孤独を感じやすい時期でもあり、母親・父親ともに支援が必要である。向日市では母親向けの支援が進む一方、授乳期の困りごとや父親の孤立など、子育て家庭を支える環境整備を進める必要がある。私自身、脳出血後、自転車ではなく、徒歩で保育所の送り迎えなど育児に参加した経験から、多様な家庭が安心して子育て		

	てに向き合える支援の必要性を強く感じている。本市の子育て施策の現状と今後の方向性について伺う ①男性の産後うつや父親の孤立に関する課題認識、父親向けの相談支援や情報提供の現状について、本市の見解を伺う。 ②母親だけでなく、父親への育児支援の取組み状況を伺う。 ③男性でも、外出先でおむつ替えやミルクなどの育児をしやすいような子育て環境について、本市の取組み状況と男性への配慮について伺う。
--	--

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 京都アリーナを巡る市長の政治的責任と市民に向き合う姿勢について	京都アリーナ（仮称）をめぐる6月定例会の質問に対する市長の答弁からは、アリーナを誘致した政治的責任や、現実に困っている市民の声を直接聞く姿勢が全く伝わりませんでした。そこで改めて市長の政治的責任と、市民に向き合う姿勢について伺います。 （1）アリーナを誘致したのは市長ではありませんか？ （2）交通渋滞や住環境のトラブルなど、問題解決の見通しが立っていないのでは？ （3）未解決の問題について、京都府からの具体的な説明はありますか？ （4）京都府に責任を持って説明させるべきでは？ （5）困っている近隣住民に会って、その声に直接耳を傾けませんか？		
2. 市民と共に市政をつくる視点から、庁舎管理規則の改訂を問う	向日市は今年4月1日、市庁舎管理規則を改訂し、市役所の敷地内での撮影、録音、録画、配信などを原則として禁止しました。ただし「公務上支障がないものとして、管理責任者等が認めるもの」は例外とされています。市役所は、市民が日常的に利用する場所です。そこでの撮影や録音を原則禁止とすることが本当に必要なのか。この規則に、市民と市役所との関係をどう考えるかという向日市行政の姿勢が表れているのではないのでしょうか。 （1）今回の改正で、いったい何が変わるのか？ （2）「何が許され、何が禁止されるか」、市民に分かるのか？ （3）「市民を信頼する行政」なのか、「まず規制する行政」なのか （4）問われているのは、市民と市役所の関係そのものではないか		

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	松本みゆき	所属会派名	会派に属さない議員
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 人口動態の変化を踏まえた中学校区と通学環境のあり方について	（１）北部開発等による中学校生徒数の将来推計 北部開発などによって増加した子どもたちが今後中学校への進学時期を迎える中、市教育委員会では、今後５年程度の各中学校の生徒数や学級数をどのように見込んでいるのでしょうか。また、大規模マンションの建設など、これまで想定していなかった地域での人口増加について、将来推計にどのように反映されているのでしょうか。 （２）将来を見据えた中学校区の検証・見直し こうした人口動態や住宅開発の変化を踏まえ、現在の中学校区が将来にわたって適切であるのか、教育委員会としてどのように認識しておられるのでしょうか。今すぐ校区を変更するというのではなく、地域ごとの児童生徒数の将来推計、各中学校の受け入れ能力、今後の住宅開発の見通しなどを整理し、通学区域のあり方について本格的な調査・検討に着手する考えはないか、お伺いいたします。 （３）通学距離の地域差と安全な通学環境の確保 市教育委員会では現在、各中学校の生徒の通学距離について、地域ごとにどの程度の差があるのか把握されているのでしょうか。最も遠い地域では学校までどの程度の距離があるのか、また長距離通学となる見込みの生徒がどの程度いるのか、その上で、人口分布の変化によって通学距離の地域差が拡大している、あるいは今後拡大する可能性についてどのように認識し、徒歩通学を原則としている現在の通学方法も含め、今後どのように対応を検討していくのか、お伺いいたします。		

2. 友好都市交流を未来になく取り組みについて	(1) 友好都市とのこれまでの交流と現状について 本市と友好都市とのこれまでの交流について、市はどのように評価しているのでしょうか。また、現在行われている交流があればその状況についてお聞かせください。 (2) 綾部市との友好関係を生かした市民交流の再活性 これまで築いてきた綾部市との友好都市との関係を生かし、子どもや子育て世代、地域団体なども参加できる市民交流を、今後改めて進めていく考えはありませんでしょうか。例えば、自然体験や農業体験、ウォーキング、スポーツ、文化、食、防災などをテーマとした交流であれば、両市それぞれの地域資源を生かすことができるのではないかと考えます。市の見解をお聞かせください。
3. 市民の安心を守る開発事業の手続きのあり方について	(1) 向日市まちづくり条例に基づく開発事前協議への対応について 本市では、都市計画法や向日市まちづくり条例に基づく開発事業者との協議において、どのような点に留意して対応しているのでしょうか。規模や地域特性も踏まえて開発事業者との協議に反映しているのかお聞かせください。 (2) 他法令等の確認と関係機関との連携について 開発事業の内容によって、建築・都市計画関係法令以外の法令や許認可等が関係する場合、本市の開発事業の手続きの中では、その関係をどのように把握しているのでしょうか。また、必要に応じて事業者への確認や、庁内関係部署、京都府、国などの所管機関との情報共有・確認をどのように行っているのか。開発計画の前提となる事項を早い段階で整理し、必要に応じて関係する部署や機関と情報を共有することは、その後の計画変更や住民との行き違いを防ぐ上でも重要だと考えます。本市の考えをお聞かせください。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1、来年度の小学校給食費無償化の継続及び、中学校給食の無償化の実施について	令和 8 年 4 月から、公立小学校で国の交付金を活用した給食費の実質無償化が始まり、物価高騰下で子育て世帯の大きな支援となり喜ばれている。一方、この制度は単年度の予算措置であり、来年度以降は国の動向次第で変更の可能性があるにもかかわらず、多くの市民は恒久的な無償化と受け止めている。日本共産党は永年、学校給食無償化を求めてきており、本市が交付金活用や国への働きかけにより 4 年間値上げをせず保護者負担軽減に努めてこられた点は高く評価している。以下 3 点について伺う。 1、来年度の国の交付金への見通しはいかがか。学校給食無償化の意義や必要性を踏まえれば、来年度、仮に国の交付金がなくなったとしても、本市として無償化を継続すべきであると考えるのかがか。 2、中学校給食の無償化については、小学校が無償化された今、子どもの成長・家庭の負担・教育の公平性を守るためには、中学校給食の無償化こそ次に取り組むべき政策である。子育て支援の連続性を確保し、誰もが安心して学べる環境を整えることが、本市の責務ではないか。是非、実現していただきたいのかがか。 3、市長はこれまで、学校給食の無償化について「ナショナルミニマムとして国の責任において行うべきものであり、全額国費で負担するよう全国市長会等を通じて要望している」と答弁されている。私たちも同感である。今後、法改正を含め、真に恒久的な無償化制度となるよう、引き続き国に対して強く働きかけていただきたいが、改めて市長のお考えを伺う。		
2、小中学校のトイレにトイレトーパーのように生理用品を常備設置すること	コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」問題をきっかけに、全国の地方自治体で、生理用品の学校や公共施設のトイレへの無償配備の動きが広がっている。内閣府の調査によると全公立高校のトイレに生理用品を置いている都県は 15 で、全小中学校のトイレに設置している市区町村は 295 自治体になっている。15 県の県庁所在地が全小中学校に設置している。（2024 年 4 月現在）京都府では、京都市や八幡市、亀岡市などで実施され、近隣の長岡京市でも、進めていく方向で検討されている。向日市でも進めていただくことについて伺う。		

	①生理用品のトイレ設置は、単なる物品提供ではなく、子どもの人権・尊厳・健康・学習権・ジェンダー平等を守るための基盤整備であると考えているが、本市としての認識を伺う。 ② GIGA スクール構想で、タブレット端末１人１台の貸与されているので、それを活用して、すべての児童生徒の生理などに関する困りごとや悩みなどを聞くアンケートを実施してはいかがか。 ③本市では、子ども１人ひとりを大切に、丁寧に対応していただいている。その構築された信頼関係を大切に、それと平行して全ての児童生徒の安心な学校生活のため、是非とも、向日市でも、小中学校のトイレにトイレットペーパーのように生理用品を常備設置していただきたいが、いかがか。
３、加齢性難聴高齢者に対する補聴器購入助成をすることについて	難聴は、うつ・認知症・フレイルの一因とも指摘されており、高齢化社会における重要課題である。こうした状況を受け、補聴器購入への公的補助を独自に実施する自治体はこの３年で１０倍に増え、２０２５年５月１日現在で全国４５４自治体に広がっている。京都府内でも京丹後市、精華町、京田辺市、大山崎町に続き、京都市でも今年１０月から補助が開始される。市民からは、このような生活に密着した支援制度への期待が非常に高い状況でる。こうした状況を踏まえ、質問する。 １、高齢者の安全・健康・社会参加を保障するために、本市でも補聴器購入補助制度を創設する必要があると考える。本市の見解を伺う。 ２、本年第１回定例会では、国の公的補助として制度化されることが望ましく、国に対しては働きかけるが、京都府に対して補助制度の創設を求める予定は無いとの答弁だったが、日本共産党の府議会議員の質問への答弁では、今年度から認知症対策総合計画の認知症対策に補聴器を位置づけるとの旨の答弁があったと聞いている。京都府へ自治体を支える補助制度の創設など働きかけて頂きたいがいかがか。 ３、定年後は聴力検査を受ける機会が大きく減少する。自営業や主婦（夫）の方が対象となる国民健康保険の特定健診では、聴力検査を実施している自治体はほとんどなく、向日市でも難しい。定年後を含めた高齢期において聴力検査を受けられる環境の整備が求められる。健診の段階で把握できれば、早期の対応や適切な受診につなげることができる。こうした状況を踏まえ、本市としても聴力検査の費用補助などの対策を検討する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

一般質問通告書（分括質問）

質問者氏名	青山まゆみ	所属会派名	日本維新の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 防災備蓄品の整備状況と今後の対応について	この度の熊本地震の発災に伴い、改めて本市の備蓄計画が市民の安心、安全を守る準備が整っているか検証させていただきます。 （１） トイレ対策として、簡易トイレ本体３６４台、仮設トイレ４５台、マンホールトイレ用便座１４台、オストメイト用トイレ６台、収集袋、凝固剤１４２００袋、トイレプライベートハウス１１２帳となっていますが本市が想定している最大避難者数に対して、国の目安を満たしているのか、またこの数字の根拠、充足率は高いのか伺います （２） 要配慮者への対策として避難生活を送る為の備蓄品について、想定避難者数に対して十分な数量を確保しているのか。不足しているなら、どのような用品をどのくらい追加されるか伺います （３） 猛暑対策として、冷房設備、扇風機、冷却用品電源設備等今後どれくらい確保していくか伺います。 （４） 令和８年度予算の備蓄物資の充実として、４４１６０００円計上していますが、この予算の根拠を伺います。限られた予算をどこに重点配分しどの品目を何人、何日分補充する予算なのか、また最大避難者を想定した場合、市の備蓄だけで何日間、市民を支えられるのか伺います。 （５） 簡易ベッドに決定された理由は何ですか。段ボールベッドの検討はされなかったのか伺います。		

	(6) 本市は家屋が密集しています。二次災害の対策としてブルーシートも必要と思いますが準備するお考えはあるのか伺います。 (7) 「災害時処方箋」の特例運用は被災者を守る重要な仕組みです。現場の医療者、薬局、支援団体まで浸透し活用できる体制を整えて頂きたいのですが市長の見解を伺います。
表題2 認知症高齢者と家族介護者を支える支援体制について	認知症の本人が安心して地域で暮らし、介護する家族が疲弊しないよう本人と家族の双方を支える認知症施策の充実のための質問と提案をさせていただきます。 (1) 認知症の方への支援である、見守り SOS ネットワークがありますが、現在の登録者数、過去3年間の行方不明事案の件数、発見に要した時間を伺います。 (2) 現在の見守り SOS ネットワークの支援を更に前進させるためのGPS端末の導入は本人の安全確保、早期発見、その事が家族の心身の負担軽減になると考えます。ICTを活用した総合的な見守り体制へ発展させてはどうでしょうか。本市の見解を伺います。 (3) 家族介護者が突然介護できなくなった時、本市ではどのような支援に繋げることができるのか伺います。 (4) 家族介護者が限界になる前に休息できるようレスパイトを目的とした支援は必要だと思います。長岡京市のような、訪問型のレスパイト支援などを導入することを提案します。本市の見解を伺います。

一般質問通告書

質問者氏名	福田 正人	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1 健康寿命の延伸について	65歳以上の高齢者人口が最も多くなる2040年をどう乗り越えていくのか。大きな課題である。 この頃には、75歳以上が500万人を超える一方、20歳から64歳までの勤労世代人口が現在より、1400万人から1500万人減少すると言われている。平均寿命・健康寿命共に延びてはいるが、不健康期間が男性約8年、女性約11年となっている。この不健康期間をいかに短くするかである。 ① 本市においても、健康寿命は延びていると考えるが、国保・介護保険・後期高齢者医療保険の保険給付額の推移を伺う。 ② 全国的に健康寿命は延びているが、保険給付額増えている。健康寿命と保険給付額の関連について伺う。 ③ 市は様々な健診や健康増進のための事業を展開されている。その効果について伺う。 ④ 健康寿命に大きく関わる「老人クラブ連合会」の加入者の推移と活動について伺う。 ⑤ 国は全ての自治体へ、後期高齢者の保健事業を、市町村において介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施することを求めている。本市の取組について伺う。 ⑥ 認知症の主たる要因の1つに、難聴が指摘されている。早期発見につながる検査として「スクリーニング検査」がある。短時間で認知機能低下の可能性を判断するための重要な入口の検査である。そこで国民健康保険加入者やその他の保険加入者の希望を確認したうえで、各種健診に導入しては如何か。 ⑦ 現在多くの自治体の窓口に「骨伝導イヤホン」が設置されている。難聴者にすみやかに情報が伝わる。再度の質問であるが、設置を求めるが如何か。		

	⑧ 補聴器の助成について、再度質問する。 市長は以前の一般質問において高額な補聴器でなく、安価な集音器の助成をもとめた支援について、「勉強させてほしい」との答弁であった。改めて集音器の助成支援について考えを伺う。
2 市民の生活環境について	① 本年7月には熊本県、8月には千葉県において甚大な災害が発生した。災害発生後は、速やかな災害廃棄物の撤去が求められる。本市においても災害廃棄物処理計画が制定されているが、具体的な保管場所は示されていない。復興住宅場所との兼ね合いもあるが、3段階（大・中・小）程度の設定は必要ではないか。考えを伺う。 ② 最近、市民の方から不審者の訪問があるとの声を聞く。 特に、市営住宅にお住まいの方から声を聞く。 ガス点検や消防点検・宅配業者を名乗るパターンもある。ドアののぞき窓からでは、姿が見えず困っているとの内容である。そこで市営住宅へのカメラ付きインターホンの設置への助成について伺う。 ③ 本市は、令和8年度の主要事業に水道使用量検針に代わる「スマートメーター導入事業」を導入されようとしている。これは府営住宅にも導入されるのかを伺う。 ④ 低所得者の方から、公営住宅入居の要望の声を多く聞く。向日台団地では1・2・3棟が解体され、新棟が完成し123戸が設置されたが、居住者のみの入居で、その他は募集しないと聞いている。空き室として残しておくとのことである。 本市市営住宅での空き室はあるのか。あるとすれば府営団地同様に災害に遭われ、住む家を失われた方のために空き室を確保しているのか、説明を求める。

一般質問通告書

質問者氏名	和島一行	所属会派名	MUKOクラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 本市の衣類のリサイクル率アップについて	趣旨 本市の衣類のリサイクルは向日市上植野浄水場に設置しているエコゲートに集積される。近隣の住民には周知されていると思うが、遠隔地域の住民の衣類のリサイクルを如何に推進していくかを聞く ① 過去3年間の古着のみの回収量を伺う。 ② エコゲートでは、エコアクションエコゲート内の看板に掲示してある「ポイント用QRコード」を、エコ・アクション・ポイントアプリで読み取ると3ポイントたまる。（ポイント付与は1日1回限り）という取り組みをしている。ポイントがたまるとCO2削減量が見える、ポイントで寄付やプレゼント交換などを実施している。市のホームページには掲載はされていない。周知することでリサイクルの気持ちが少しでも向上する。周知すべきである。如何か。 ③ 現在は上植野浄水場のみにエコゲートを設置しているが、今後、遠隔地である物集女町、寺戸町などの古着の回収はどのように考えているのか。また、設置の予定、設置の検討などされているかを伺う。		
2. 本市の公園について	本市の公園について伺う ① 本市新市街地に設置している寺田西公園はバイク等を侵入させないようにしている。このバリケードは簡易的なもので竹の広場から繋がる新しい公園としては非常にもったいない景観になってしまっている。以前、当初設置のバリケードが一部劣化したので交換したと聞いたが、この簡易的なバリケードに予算をかけずに、当初に設置されたものと同様のものか東向日駅前のポケットパークのようなかっちりしたバリケードにできないかお聞きする。 ② 本市も高齢化が進み、地域の公園にはほとんど足を踏み入れない状況が目立つ。使用率の少ない公園をどのように市民が利用しやすいようにしていくのか方向性を伺う。地域の声をアンケートやワークショップ等を開催し市民協働の公園を目指すことが重要である。如何か。		

	③ 本市の代表的な公園のネーミングライツの考え方について伺う。本市のぐるっとむこうバスはネーミングライツを実施、募集しているが、同様に本市の公園についてのネーミングライツ導入を検討し、少しでも税外収入を確保すべき。如何か。
--	--

傍聴者資料（分割）

質問者氏名	林 リエ	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 本市の財産である職員（人物）の働き方について	向日市役所職員の令和３年度～７年度の退職者数は８８名おられ、自己都合退職者は内６５名です。自己都合退職割合は７３％となります。退職理由は様々ですが、これは向日市の大きな財産（人物）の損失です。この実態を市長はどの様に考え、対応しているかを問います。 ①自己都合退職者が７３％は大変高い数値です。退職理由の分析は難しいですが、離職の要因を構造的に把握しないまま人事施策を続けることは、我がまちで働き、経験や知見を多く持つ貴重な人物（職員）を失うという大きな損失です。向日市の未来を創るのは人物（職員）です。この現状に対し、現在どの様な対策を行ってきたのかお示してください。 ②人事評価制度について伺います。現在の評価制度は直属の上司評価と自己評価が中心と伺っています。特にマネジメント能力を適正に評価する観点から、同僚・部下からも加点される多面評価導入を検討されたことはありますか。 ③地方自治体は市民の最先端で職務を行っており、常に新たな情報収集や知見が必須となります。職員に伴走する形で（審議会ではなく）専門家等に伴走していただく体制はどこまで整っているのかお示してください。 ④他市町が開庁時間短縮を行い、生まれた時間を職員の政策立案・研修・業務改善・残務処理に充てる動きが相次いでいますが、本市はどのようにお考えですか。		
2. 向日市の農の未来について	向日丘陵は本市の農業、歴史、景観、文化が詰まった貴重な地域資源です。安田市長も令和５年第２回定例会で「全国一のタケノコ畑や歴史が詰まった古墳、そして美しい竹の径をしっかりと残していけるよう、これらを一体的に整備していくことであり、地元農家、文化財関係者、竹産業に関わる皆様、向日丘陵に関わる方々と連携を深め、将来に向け、保存活用を進めて参りたい」とおっしゃっています。一方で、農業従事者の高齢化や後継者不足は深刻になってきており、特にタケノコ栽培をされている農家の方々のご苦労は切実であるとお聞きしております。このままでは長年、地元農家のご努力により守られてきた、日本一の品質を誇るタケノコの産地である向日市の大切な資源を守っていくことが困難だと考えます。そこで下記質問致します。 ①リーダーシップと今後の方向性について。向日市では、農業従事者数も農地面積も縮小し続けています。これまで本市としても対策を講じてきたとは思いますが、農業関係者の自主性のみに依存しては、この状況を打開することは難しいのではないのでしょうか。		

	向日市が主体的にリーダーシップをとり、対策を進めていくべきだと考えます。市長のお考えと、今後の方向性を伺います。
3. 防災の進捗と、公式LINE 防災機能の早急導入について	市長はこれまでの答弁において、「防災に関する情報発信は複数の手段を確保することが重要であり、防災に関してはできることはすべてやる」と繰り返し述べておられます。本市は令和8年4月から有料版公式LINEを導入しており、追加費用がほぼかからずに活用できる機能について、これまで複数回にわたり導入を提案してきたが、残念ながら現時点で具体的な検討には至っていない。今年度の主要事業である「デジタル防災マップ」も大変期待しているが、市民が慣れ親しんでいる向日市の公式LINE内にも防災機能を持たせてはどうか。 防災対策で大切なのは、大規模災害への備えを平時から積み重ねていくこと。今すぐにでも活用できる防災関連機能だけでも、以下のとおり多数存在しており、これらを導入しないのは非常にもったいない。 【避難所関連】避難所 QR チェックイン／避難場所検索／避難所開設情報のリアルタイム可視化／避難所の混雑状況把握【要配慮者・在宅避難者関連】個別避難計画策定支援／在宅避難者との連絡手段と状況確認【被災者支援関連】 災害通報／罹災証明の申請【訓練・啓発関連】デジタル避難訓練／マイタイムライン作成【情報発信関連】防災メールとの連携／防災無線配信／防災無線の放送依頼【消防・設備関連】水利位置検索/住宅用火災報知機の設置調査／消防団加入 など 1. これだけの機能を追加費用もほとんどかけずに活用でき、またオリジナルで内容追加ができるにもかかわらず、導入を検討しない理由があればお示ください。 2. 今回の令和8年熊本地震でも、避難所外で過ごす市民の把握ができず、支援が届かないという課題が問題化した。本市では個別避難計画の策定も進んでおらず、避難所外の市民や、要支援者等とつながる方法として、現在どのような対応を検討しているのか。 3. 以前から準備を進めてきた「避難所開設チェックリスト」に加え、「避難所運営マニュアル」は整備できたか。来年1月17日実施予定の向日市主催の避難訓練で市民に広く周知できるかお示ください。また避難所と防災倉庫の鍵の分散設置の状況もお聞かせください。 4. 福祉避難所が全く足りていない本市の現状を踏まえ、あらかじめ福祉避難所として活用できる公共施設や企業施設をリスト化し、「母子に特化した場所」「障がい者に特化した場所」「高齢者に特化した場所」などを定めておいてはどうか。また、車中泊場所として、大型駐車場が例えばイオン桂川店等と事前に協定を締結しておいてはどうか。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重 健男	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1, 防災について	本市の防災体制について、主に地震時の避難対応及び2次災害、水害対策の観点から質問する。 1, イオンモール熊本での爆発事故について 本市にもイオンモール桂川が所在することから、今後の対応についてうかがうものである。 ①事故原因について イオンモール桂川と本市との間で今回の事故を受けての連絡・調整・協議・意見交換等を行われたかがう。 ②イオンモール桂川での発災可能性検証について イオンモール桂川における同様の事故の発生についてどのように考えられるか、本格的な検証等を行うことは発災から間もないため困難であると考えますが、現時点での見解をうかがう。 ③災害時対応について 本市はイオンモール桂川と「京都市及び向日市「新市街地ゾーン」地域防災に関する協定」を締結しているところであるが、類似の事故の際の取り決めについてうかがう。 2, 避難所での停電時対策について ①現行の対応について 向日市地域防災計画における位置づけについてうかがう。 ②太陽光パネルと蓄電池の設置について 避難所への太陽光パネル等発電設備と蓄電池を設置されてはいかがか。 3, アンダーパスの水没対策について 本市でのアンダーパスの安全性について確認するものである。 ①記録的短時間大雨への対応について 本市で時間当たり降水量 100mm を超えた場合はどうなるのかうかがう。		

	②停電に伴う、注意喚起用電光掲示板や排水ポンプ停止時の対応について 本市での対策をうかがう。 ③市内の各アンダーパスにおける安全性について 市内7カ所のアンダーパスにおける許容される時間当たり降水量はどの程度かうかがう。あわせて冠水の際の対応についてもうかがう。
2, 市民協働センター「かけはし」と現寺戸公民館の今後について	現在の進捗状況についてうかがう。 1, 市民協働センター「かけはし」開設場所について 設置場所を変更されるか。また、移動するとすれば、移動先はどこになるのかうかがう。 2, 市民協働センター「かけはし」の運用について 運用等に関する変更は検討しているかうかがう。 3, 現寺戸公民館の運用について 現在の進捗状況についてかうかがう。
3, 市民体育館等の空調利用について	利用方法と料金体系について課題の確認と運用方法の提案を行うものである。 1, 市民体育館大体育室等での空調運用について 現状と課題についてうかがう。 2, 利用料金の利用者間での調整について 空調の使用の判断が分かれる時期は、使用フロアの面数に従い利用料金を分割してはいかがか。 3, 夏季等の空調運用について 市としては利用者の安全に配慮する必要がある。 夏季は空調の使用を前提としてはいかがか。
4, 第3保育所跡地の活用について	令和7年の第2回定例会において、市立第3保育所の跡地の活用についてうかがったところ、「跡地の一部について、都市公園として整備するよう進めており、敷地内に西から東に流れる水路の状況など具体的に現地調査を行った段階である」との答弁があった。1年が経過したことから、再度、状況を確認したい。 1, 現在の進捗状況について

一般質問通告書

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	日本維新の会
表題	質問事項(質問の要旨)		
1. 職員の採用から定着へ持続可能な人材確保について	今年の6月の報道によると、同じ乙訓の町で、職員の離職が相次ぎ、昨年度だけで全職員の7%ほどが退職し、この4年間で職員の2割が入れ替わったという。 業務量が増える中、人手がぎりぎりの状態が続く悪循環で「あほらしくなった」という衝撃的な見出しで報じられた。退職者が出るとさらに一人あたりの業務量が増え、肉体的にも精神的にも負担が増える。 行政組織の意思決定や町政が安定していないこともあり、ただ採用数を増やしただけでは解決されないという。職場の環境が魅力のあるものではないと推察する。 長はAIを活用して打開策を見出そうとされているが、それで解決できるのだろうか。 本市も他人事ではない。 今日の自治体職員の業務は、これまでに考えられなかった概念で増え続けている。 採用にあたって自治体間競争が激しい中、差別化を図るのは難しい状況ではあるが、他の自治体にはない魅力をアピールするために、取り組んでおられることは何か？ 採用から定年まで、安心して働くことができる環境づくりに取り組んでこられたことは何か、成果は出ているのか伺います。 採用後も離職者を出さないための新たな取り組みがあれば伺います。		

2. デジタル教科書の導入について	本市では令和 2 年度(2020 年)より、1 人 1 台端末を配備し、GIGA スクール構想のもとで ICT 化が進められてきた。児童・生徒にとって新たな教材を使った視覚的、多角的な学びの機会等により、教育の質を向上させ、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を目指すことを目的に進められてきた。 また教員にとっても校務 DX により業務の効率化を目指し、働き方改革が推し進められてきた。 令和 6 年度より第 2 期へ移行されているが、この間児童・生徒、教員にとってどのような成果があったのか伺います。 6 月 10 日、デジタル教科書が紙と同様に正式な教科書と位置付ける学校教育法などの改正案が参議院本会議で、賛成多数で可決された。 2030 年度に変わる次期学習指導要領から順次導入する方針だという。 各報道によると、これまでのデジタル教科書は代替教材の位置付けで、国の検定の対象外であった。 新制度では「紙のみ」「デジタルと紙を組み合わせたもの」「デジタルのみ」の 3 種類となり、小中学校で無償配布される。 どの形態を選ぶかは各教育委員会が選ぶことになる。 デジタル教科書には、文字の拡大や文章の音声読み上げ、動画を活用した資料の提示等多角的に学ぶことができるという。 一方で、デジタル教科書をすでに導入している北欧のスウェーデン、フィンランドでは、学力が低下しており、紙の教科書に戻すという動きが起きている。 また 4 月の衆議院文部科学委員会で、文部科学大臣はデジタルのみの教科書について「小学校 4 年生以下で認めることは適当ではない。」国語や社会、道徳は「当面認めるべきではない」と発言されている。 本市ではデジタル教科書の導入についてどのような見解をお持ちなのか伺います。
--------------------------	---